



CONTENTS

半期活動レポート（2024年10月-2025年3月）

P. 01 > Fukuoka Smart City Communityについて

P. 02 > 進捗のご報告

①「はぐくむふくおかプロジェクト」

■ 地元企業や市民とともに福岡の子育てを応援するプロジェクト

▶ 概要

▶ 実績

P. 03 > ▶ 結果進捗

フェーズ1

「はぐくむ井戸端会議」(2023年11月~2024年8月)

P. 04 > フェーズ2

P. 05

はぐくむ井戸端会議をもとにした企画検討・実施(2025年3月~)

P. 06 > ②「ABURAYAMA 謎解きデカボdeクエスト」への参画

■ 謎解きイベントを通じて市民の脱炭素アクションを促す

P. 07 > その他の共創プロジェクト

■ ワークショップコレクションin福岡2025

P. 08 > ▶ 出展内容と担当者コメント

P. 09 > その他の共創プロジェクト

▶ 全体会議(毎月1回)

▶ 「プロジェクトF」

Fukuoka Smart City Community について

次の100年も、みんなで福岡をつくるんだ

これまでの100年で、福岡は大きく成長を遂げました。

まちに誇りを持ち、よりよくするための声を唱えてきた市民、
暮らしの基盤となるサービスを生み出してきた企業、
自治体や学校も、みんなで作ってきたのが今の福岡です。

私たちFukuoka Smart City Communityは
次の100年もそうであって欲しいと願い、
みんながまちづくりに携わる場や機会をつくります。

日々、多くの市民と接する企業が集まる多様なコミュニティだからこそ、
今後ますます複雑化するまちのニーズに丁寧に向き合いたい。

デジタルに限定しない解決策をみんなとともに考え、解決していくことで、
福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献します。

私たちが大切にすること

市民のニーズをもとに、 持続的な地域社会貢献に 取り組む

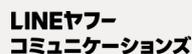
福岡に根ざす企業・自治体(オブザーバー)
の共同事業体として、市民の納得・満足を
追求しながら活動し続けます。

自治体/企業/市民の セクショナリズムを超える

異なる専門知識やスキル、バックグラ
ウンドを持った企業が組織や役割を超え
てより高い価値を提供します。

抽象的な議論より具体的な アウトプットを重視する

各企業のアセット活用などデジタルに
限定しない柔軟なアイデアで、市民のため
にできることをどんどん実行します。



※福岡市は
オブザーバーとして参画

私たちはこれからも、その時々まちや市民のニーズと向き合い、課題を解決したり可能性を広げたりすることを目指して
施策の実施を進めてまいります。

進捗のご報告

1

「はぐくむふくおかプロジェクト」

■ 地元企業や市民とともに福岡の子育てを応援するプロジェクト

FSC会員企業：株式会社グッディ / 九州旅客鉄道株式会社 / 西部ガスホールディングス株式会社 / 株式会社西日本シティ銀行 / 西日本鉄道株式会社 / 株式会社福岡銀行 / 福岡地所株式会社 / LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社

▶ 概要

企業が子育てにまつわる7つのテーマについて、市民や企業関係者から意見やアイデアを集め、それぞれのテーマが福岡の市民にとってより良いものになるような仕組みを考え、実践していくプロジェクト。

● 実施内容

- ・市民や企業関係者を交えた座談会「はぐくむ井戸端会議」の開催
- ・子育てを応援するスローガンやアクションの策定と発信
- ・「はぐくむ井戸端会議」をもとにした企画検討・実施

「はぐくむふくおかプロジェクト」公式サイト：
<https://fukuoka.smartcity-community.jp/hagukumu/202307/>



▶ 実績

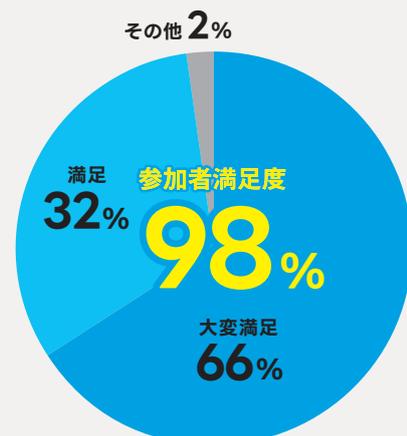
● 本プロジェクトにおける参加者累計数：**2,570名**

- ▶ 企画前アンケート回答数：**1,116名**
- ▶ 「はぐくむ井戸端会議」参加数：**110名**
- ▶ 「はぐくむふくおかプロジェクト」LINE公式アカウント友だち数：**210名** (2025年6月現在)
- ▶ 福岡市内の公立小学校での金融教育ゲームの出張授業 体験生徒数：**604名** (6校で実施)
- ▶ 「バパレシビ」企画※2023年実施 参加数：**9名**
- ▶ Phase2アンケート回答数：**521名**

本プロジェクト※
 における満足度：**98%**

※市民参加型企画(はぐくむ井戸端会議、金融教育ゲームの出張授業)のアンケート結果合計

■ 大変満足 ■ 満足 ■ その他



▶ 結果進捗

フェーズ1

はぐくむ井戸端会議 (2023年11月~2024年8月)

7つのテーマについてそれぞれ意見やアイデアを交換する「はぐくむ井戸端会議」を、累計110名の参加者と実施しました。子育て経験者から未経験者、小学生など幅広い世代の方に参加いただき、それぞれのライフステージで感じている多種多様な意見をもとに、今日からできるアクションとして「はぐくむアクション」を定めました。

「はぐくむ井戸端会議」テーマとアクションまとめ

<p>テーマ①</p> <p>思いやりをはぐくむ</p>  <p>子どもが電車やバスで泣いたらどうしよう。みんなにとって居心地の良い公共交通について考える</p>	<p>テーマ②</p> <p>親の困りごとを解決できる仕組みをはぐくむ</p>  <p>子育ての悩みで必ず上位に上がる「お金」について金融ゲームを用いたアイデア出し</p>	<p>テーマ③</p> <p>職場の前向きな変化をはぐくむ</p>  <p>子育てフレンドリーな職場をつくるためのカルタを使ったディスカッション</p>	<p>テーマ④</p> <p>子供の学ぶ姿勢をはぐくむ</p>  <p>「子どもにもお金について正しい知識を身につけて欲しい」という声から生まれた金融ボードゲーム体験</p>
<p>< はぐくむアクション ></p> <p>泣いている子どもに微笑むなど、優しい気持ちを忘れずに。みんなでいい雰囲気を作っていくこう!</p>	<p>< はぐくむアクション ></p> <p>「遊び」→「学び」へ。まずは親から、そして子どもへ、楽しみながらお金を学んでみよう!</p>	<p>< はぐくむアクション ></p> <p>相手の悩みや立場に寄り添いながら声を掛け合い、お互いに理解しようとする姿勢を忘れない!</p>	<p>< はぐくむアクション ></p> <p>大事なテーマだからこそ遊びを通して興味を持つきっかけに。</p>
<p>テーマ⑤</p> <p>豊かなコミュニティをはぐくむ</p>  <p>世代や家族をまたいだコミュニケーションの方法として「本のおさがり」に着目した座談会</p>	<p>テーマ⑥</p> <p>安心感をはぐくむ</p>  <p>福岡ってどのくらい安心して暮らせるまちなの? という疑問から始まった福岡でのまち歩き</p>	<p>テーマ⑦</p> <p>大人のチャンスをはぐくむ</p>  <p>災害時などピンチな場面でも焦らず家族を守る頼もしい大人でいるための防災リユック作りワークショップ</p>	
<p>< はぐくむアクション ></p> <p>意識的に世代を超えたコミュニケーションをはぐくみ、身近な生活圏でコミュニティのきっかけを作っていくこう!</p>	<p>< はぐくむアクション ></p> <p>子ども連れや外国人観光客など様々な立場の人がいることを念頭に、他の人の目線になって少し気にかけてみよう!</p>	<p>< はぐくむアクション ></p> <p>「電気を使わない日」を作るなど、生活に取り入れることで防災をもっと身近にしよう!</p>	

フェーズ 2

はぐくむ井戸端会議をもとにした企画検討・実施 (2025年3月～)

2023年11月よりスタートさせたプロジェクトのフェーズ2では、フェーズ1で集まった意見やアイデアの中からFSC会員企業が持つアセットやノウハウを活かせそうな課題を選び、担当企業ごとに分かれて打ち手を協議しました。検討を重ねた結果、いくつかの企画が生まれています。



福岡の子育て世代住まいのレポート

物件やインテリア・エクステリアなど住宅関連領域へ事業展開があるJR九州、グッデイ、福岡地所の3社が「子育てしやすい住まい」をテーマにFSC会員企業社員向けに実態調査アンケートを実施。福岡の未来の子育て世代や現役子育て世代の住宅選びの一助となることを目的に1冊のレポートにまとめました。子どもの成長に伴い変化する住まいの要件や住み替えのタイミング、学区問題など、実体験をもとにしたリアルな声が満載です。

https://fukuoka.smartcity-community.jp/assets/pdf/report_20250414.pdf



福岡で働くパパママがリアルにオススメする これ助かる！子育てサポートTips集



西部ガスに所属する担当者自身が育休取得時に感じた、“生きた”お役立ち情報の見つけづらさをきっかけに生まれた本企画。FSC会員企業で働くパパママが実際に活用し、人に勧めたいスポットやサービス、商品をまとめています。紹介する施設やアイテムにはそれぞれ各社社員のお勧めポイント付き。福岡市独自の取り組みも多数紹介していますので、これから福岡で子育てを検討中の方にぜひオススメしたい読み物です。

https://note.com/fsc_community/n/nfd7acdf61074



西鉄バススタンプアドベンチャー

今春は西鉄バスの「こども50円バス」(※)企画がパワーアップ！開催期間中にスタンプを3つ集めると、特典としてオリジナルグッズがもらえるスタンプラリー企画を実施しました。「子育て世帯や子ども達にバスをもっと身近に感じてほしい」という願いから生まれた春休み限定企画。参加者からは大変好評をいただきました。

※小学生以下を対象としたバス運賃割引キャンペーン。実施期間中は対象の路線バスと特急バスはどこまで乗っても1回50円。

<https://wsc-fukuoka.jp/news/2739/>





お金の知識をはぐくむすごろく



本プロジェクトの【フェーズ1】はぐくむ井戸端会議がきっかけとなり、株式会社西日本シティ銀行と、株式会社福岡銀行の行員が中心となって考案した金融ボードゲーム「お金の知識をはぐくむすごろく」。

子ども達が資産形成について知ったり、資産変動に影響する社会情勢に興味を持ったりするきっかけになることを願い、今期はこのゲームを用いて、福岡市内の小学校6校合計604名の小学6年生へ向けて出張授業を実施しました。

すごろくを軸に展開した授業に生徒の皆さんは興味津々、ゲームの展開に大きな歓声上がる場面も。先生からも好評をいただいたため、集まった意見をもとにより質の高い学びを提供できるようゲームのブラッシュアップを検討中です。



このゲームはプロジェクト公式サイトより無料でダウンロード可能です。
ダウンロードはこちらから

<https://fukuoka.smartcity-community.jp/hagukumu/202307/report/>



先生の声

家庭科の中では、消費者に関する教育を行っていますが、今後生きていく上で「投資」に限らず、「お金」に関する知識は非常に大切だと思います。このような学習がもっと広まってほしいと思いました。



生徒の声

- 投資というものを知らなかったけど楽しみながら学ぶことができた。
- いろいろな問題で株価が上がり下がりが分かるようになった。
- 将来お金をかしく増やしたり使える人になりたいと思った。
- お金の価値が分かるゲームだった。
- どうしたらお金が増えるのかを考えながらゲームを進めていくのが楽しい。



< 参加後アンケート >

- たくさん学べた、少しだけ学べた
- その他



604名参加!

FSCでは引き続き、本プロジェクトを通して「福岡の子育て」を応援する取り組みを行ってまいります。

2 「ABURAYAMA 謎解きデカボdeクエスト」への参画

■ 謎解きイベントを通じて市民の脱炭素アクションを促す

主催：福岡市環境局 企画：Earth hacks株式会社

FSC会員企業：株式会社グッデイ / 九州旅客鉄道株式会社 / 西部ガスホールディングス株式会社 / 株式会社西日本シティ銀行 / 西日本鉄道株式会社 / 株式会社福岡銀行 / 福岡地所株式会社 / LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社



福岡市環境局主催の脱炭素啓発を目的とした期間限定イベント「ABURAYAMA 謎解きデカボdeクエスト」に、協力企業としてFSC会員企業全社が参画しました。2040年温室効果ガス排出量実質ゼロのチャレンジ目標を掲げる福岡市において、地域の環境・社会課題解決に資するアクションを通じて、FSC参画企業で連携して持続可能な地域社会の実現に貢献することがねらいです。会場となったABURAYAMA FUKUOKAには7つの謎解きスポットが設置され、参加者は施設内を周遊しながらLINEアプリを使って順番に謎解きを進めていく仕組みです。2025年3月1日(土)～3月31日(月)の1ヶ月間に渡って開催された当イベントの参加者数(小学校高学年以上)は累計1,829名に上りました。

体験フロー

- ① LINE上で謎解き問題を確認
- ② 問題の手掛かりを見つけるためLINE上で指示されたスポットへ移動
- ③ スポットにある手掛かりをヒントに問題を解答
- ④ 正解であれば次の問題とヒントが表示
- ⑤ 謎解きをクリアしたら抽選で参加者プレゼントが当たる



参加者の声

親子で楽しみながら環境の勉強も出来て一石二鳥のイベントになりました。

楽しく環境について学ぶことができました。旬産旬消など初めて知る言葉もあり、勉強になりました。これから意識して生活していきたいです。

身近に取り組めるものばかりで、一人一人が少し気をつけていけば、自分たちも世の中のために役に立つんやな!と思いました。

企画企業

Earth hacks株式会社 マーケティング企画部 担当者

本イベントには当初の想定を上回る方にご参加いただき、心より感謝申し上げます。お子さま連れのご家族を中心にイベントを楽しんでいただき、アンケートでは9割近くの方が「環境への理解を深めることができた」と回答いただくなど、謎解きを入口にして楽しく環境について学ぶ機会を作ることが出来たと思います。

ご協力いただいたFukuoka Smart City Communityの皆様、誠にありがとうございました!

その他の共創プロジェクト

■ ワークショップコレクションin福岡2025

主催：株式会社グッデイ / 特定非営利活動法人CANVAS

FSC会員企業：株式会社グッデイ / 西部ガスホールディングス株式会社 / 株式会社西日本シティ銀行 / 西日本鉄道株式会社 / 株式会社福岡銀行 / LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社

科学や電子工作・デジタル・アート造形など、子どもたちが体験を通じてモノづくりの素晴らしさや表現力・想像力を深めることを目的とした西日本最大級のワークショップイベント「ワークショップコレクション」に、FSCの会員企業6社が出展しました。3月29日・30日の二日間の開催で、イベント全体で延べ31,113名と過去最高の来場者数となりました。



イベントHP：<https://wsc-fukuoka.jp/>

延べ
3万人以上参加!



主催企業

株式会社グッデイ マーケティング部 担当者

2025年のワークショップコレクションは、青空と満開の桜に包まれてスタートしました。寒の戻りで少し肌寒い二日間となりましたが、子どもたちは元気いっぱい!会場には“ワクワク”した笑顔があふれていました。

今年は、FSC発の企画となるブースをポイントとしたスタンプラリーも実施され、イベントをさらに盛り上げてくれました。出展社による多彩な企画によりワークショップの体験者数は過去最高を記録し、大盛況のうちに幕を閉じました。今後も、子どもたちに多彩な学びと体験の場を提供してまいります。

こどものためのワークショップ博覧会
ワークショップコレクション in 福岡 2025

出展内容と担当者コメント



グッデイと考える防災ワークショップ

いつ、どこで起こるか分からない災害。弊社では、いざという時に生き延びるための「自分だけの防災リュックづくり」を、カードゲーム形式で体験できるワークショップを実施しました。遊びながら防災意識を高められる、楽しく学べる企画となりました。

株式会社グッデイ 経営企画部 担当者



西部ガスが発電!?風を使った発電機をつくろう!

弊社ではカーボンニュートラルについて楽しく学べるコンテンツ「カーボンニュートラボ」を題材に、動画学習・風力発電キットの工作・実験を行いました。親子で一緒に楽しく取り組まれている様子が印象的でした。今後も未来を担う子どもたちに想いを届ける機会を大切にします。

西部ガスホールディングス株式会社 総務広報部 担当者



ワングの銀行で学んで遊ぼう!

4つのブースと特別授業「お金のがっこう」を実施しました。銀行の制服着用や1億円の重さ体験、貯金箱制作、巨大すごろくゲームやオリジナルカードゲーム「街-1」を使った街づくりのアイデア発想ゲームを実施しました。当行のブースには約9,000人の子どもたちが訪れました。

株式会社西日本シティ銀行 広報文化部 担当者



西鉄バスについて学ぼう!

「レトロフィット電気バス」を展示し、バス車内にて西鉄バスクイズ大会とレトロフィット電気バスに関するレクチャーを実施しました。普段は見る事が出来ないバッテリー部分も公開し、おさまはもちろん保護者の方にも楽しんでいただけるワークショップになりました。

西日本鉄道株式会社 自動車事業本部 担当者



春休み!ふくぎん子ども探検隊

福岡銀行では、調味料を使った「10円磨き」や「お金クイズ」、「一億円の重さ体験」等を提供しました。子どもたちのたくさんの笑顔に接し、楽しみながらお金のことを考えてもらうきっかけになったと実感しています。

株式会社福岡銀行 クオリティ統括部 担当者



LINEヤフーのサービスを体験してみよう!

教室内は常時、タブレットやスマホを使いながら各コンテンツに夢中で取り組む子ども達や、講師の話に子ども以上に聞き入っている保護者の方々などで大盛況でした。世代を超えてそれぞれの視点で弊社の理念やサービスを体感いただく良い機会になりました。

LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社 スマートシティ本部担当者

定例での活動について



※写真はイメージです

▶ 全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。
各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

▶ 「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで見聞を共有するプロジェクト。今回のテーマは「自由」。
10～3月期には以下の企業が発表を行いました。

株式会社福岡銀行：福岡銀行が取り組むDXについて
西日本鉄道株式会社：ONE FUKUOKA BLDG.のご紹介

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で複雑化するまちのニーズへ丁寧に向き合い、解決策を社会実装することを通して、福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献してまいります。

〈 Fukuoka Smart City Community 概要 〉

名称／Fukuoka Smart City Community
事務局所在地／福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F
設立日／2020年10月14日
主な事業内容／市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供
サイト／<https://fukuoka.smartcity-community.jp>